

(5月の果実見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	入荷量(t)	占有率(%)	
すいか類		6,841	95	6,554	230	90	228	-	-	<p>大玉すいかは熊本産、千葉産中心の入荷で9割を占める。熊本産は4月下旬から入荷が増え、5月も順調な入荷となる見込み。千葉県産は初入荷が5月20日ころの予定。入荷量は全進化した前年に比べ大幅に減少する見込み。</p> <p>小玉すいかは茨城産中心の入荷となる。玉伸び、品質とも良好で5月については前年並みの入荷と見込まれる。</p> <p>価格については消費が低調なことから価格は前年を下回る見込み。</p>
メロン類		5,513	100	5,568	427	100	445	5	0.1	<p>アールスメロンは静岡を中心に、宮崎、熊本、高知産が出回る。アールスメロンは面積が減少。贈答需要もマンゴーに押され価格についても厳しい状況にある。</p> <p>アンデスは茨城、熊本産の入荷で9割を占める。入荷量は前年並みと見込まれ、価格は根強い需要もあり前年並みとなる見込み。</p> <p>クインシーも茨城、熊本産中心の入荷となる。今年は熊本産の入荷多く入荷量は前年を上回る見込み。価格は前年並みの見込み。</p>
あまなつかん		1,705	97	2,280	203	80	181	-	-	<p>熊本、愛媛産中心に出回る。貯蔵量が少なく、入荷量は減少する見込み。食味は良好であるが、小玉傾向であり、価格は高値だった前年を大きく下回る見込み。</p>
みかん類		322	95	371	1,331	94	1,186	-	-	<p>佐賀、大分、愛知産中心に出回る。ハウスみかんがほとんどを占める。各産地とも作付けが減少している。</p> <p>入荷量としては前年を下回り、価格も前年を下回る見込み。</p>
おうとう		168	100	244	2,717	95	2,477	45	27.0	<p>山形産が中心に出回る。他には山梨産が入荷。山形産は着果、肥大とも概ね順調。前年並みの入荷と見込まれる。</p> <p>山梨産も作柄は平年並み。露地物が5月25日過ぎからの入荷見込み。</p> <p>価格は競合品目のマンゴーが増量見込みから、ハウスおうとうの需要は鈍く、前年を下回る見込み。</p>

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	入荷量(t)	占有率(%)	
びわ		180	200	240	1,502	77	1,374	-	-	長崎産中心に出回る。長崎産は連休明けから増加し、潤沢に入荷。塩害を受けた前年に比べ2倍の入荷と見込まれ、価格は前年を大幅に下回る見込み。
マンゴー		131	150	122	3,452	93	1,780	-	-	・宮崎、フィリピン、メキシコ産を中心に出回る。 ・国産のものは宮崎産中心の入荷となる。結果樹面積が増えているため収穫量も増加。入荷量は前年比5割程度の増加見込み。 価格は前年に引き続きマンゴー人気は衰えず引き合いが強い。母の日贈答需要もあり価格は高騰した前年を下回るものの高値基調で推移する見込み。